

透析患者にとり残腎機能 (residual renal function; RRF) は重要であるといわれる。RRF は透析患者の生命予後や QOL に関連する因子だからである。RRF は単純に尿量あるいは糸球体濾過量を指し示す指標ではなく、尿毒素や溶質の排泄能、尿細管機能なども包含する概念と考えられる。つまり、RRF は透析患者の腎臓にわずかながらも残された、尿細管における物質輸送や代謝、ビタミン D 活性化やエリスロポエチン産生能までも含む機能といえる。

一方で、血圧、血糖値などと異なり RRF の管理目標は明確ではない。その理由は、RRF の定義や測定方法が確立していないからではないだろうか。RRF は海外の透析関連ガイドラインには取り上げられてはいるが、本邦の透析関連ガイドラインでは RRF に関する記載はほとんどみられ

ない。しかし、透析医療において RRF を意識する必要性は高い。とくに近年の高齢者主体の透析環境では重要なポイントと考えられる。なぜなら、RRF を維持することで、透析中の血圧低下を防止し体に優しい透析医療を実現でき、生命予後の改善、透析合併症の発症予防にもつながるからである。

そこで今回の特集では、改めて RRF の定義や測定法、RRF に影響する因子、RRF が透析患者に及ぼす影響、RRF と生活習慣病との関連、RRF を維持するための対策などをテーマとして取り上げた。本号を読んでいただき、日常診療において RRF を考えるきっかけとしていただけたら嬉しく思う。

(西 慎一, 小松康宏)

2019 年 (Vol. 35) 特集のご案内

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------------|
| No.① 透析患者の糖尿病管理の新展開 | No. 5 最前線の透析医工学 |
| No.② 透析患者における電解質・酸塩基平衡異常—透析液を含めて | No. 6 AKI 診療のエビデンスと課題 |
| No.③ 慢性腎臓病の看護実践をリフレクションする | No. 7 CKD 患者におけるがん化学療法—透析患者を中心に〔増刊号〕 |
| No.④ 透析患者の残腎機能 | (既刊は○) |

臨牀透析® Vol.35 No.4

© 2019 年 4 月 10 日発行
定価：(本体 2,600 円 + 税)

年間予約購読は前金にて弊社あるいは書店宛お申し込み下さい。ただし、年間購読料は年度により異なりますので、弊社または書店までお問い合わせ下さい。

発行人 増 永 和 也
発行所 株式会社 日本メディカルセンター
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-64 神保町協和ビル
営業直通電話 (03) 3291-3901 (代) FAX (03) 3291-3904
編集直通電話 (03) 3291-3971 (代) FAX (03) 3291-3377
e-mail dialysis@nmckk.co.jp
URL <http://www.nmckk.jp>
郵便振替 00110-2-80695
印刷所 シナノ印刷株式会社

・ Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2019, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は (株) 日本メディカルセンターが保有します。

・ JCOPY® < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構 (☎ 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail : info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

■ 広告申込所 / 株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-26-1 電話 (03) 3814-8541